

□ 計 画 策 定 の 背 景

▼大改造の必要性

- ・横浜都心の一体化による新たなまちづくりのスタート
- ・羽田空港国際化を契機に、横浜から世界へ新たな価値の発信
- ・日本第二位の都市・首都圏南西部の要衝として、大都市中心部の再生モデルの提示

▼大改造計画の取組みの基本的考え方

- ・まちの価値を高めるためにみんなで取組む計画
- ・まちの成長とともに進化する計画

□ 横 濱 駅 周 辺 の 期 待 役 割

▼首都圏における横浜都心の期待役割

◆新たな首都圏のめざすべき方向

- ・経済・産業・学術・情報・都市インフラの集積を活かした国際競争力の強化が必要

◆首都圏における横浜都心の役割

- ・開港都市/国際港都/首都圏南西部の経済・社会の拠点として、交通拠点の機能強化や豊かさ・楽しさをもたらす都市機能・文化の育成、先進的な都市環境や都市空間創造に挑戦

▼横浜都心における横浜駅周辺の役割

「国際都市横浜の玄関口として
国際競争力のあるまちを目指す」

～横浜の玄関口としての交通ターミナル機能、商業等の広域の拠点としての機能、先端的・国際的企業の集積やそのサポート機能～

I まちづくりのビジョンと将来像 (ビジョン編)

1. まちづくりの基本理念

- 1 安全安心を実感できるまちを目指します
- 2 都市機能の強化と新たな魅力を創出します
- 3 新たな環境の創造に取り組みます
- 4 エリアマネジメントによるまちの運営を目指します

2. まちの将来像

1) 将来像

世界から人々をいざなう『選ばれるまち』

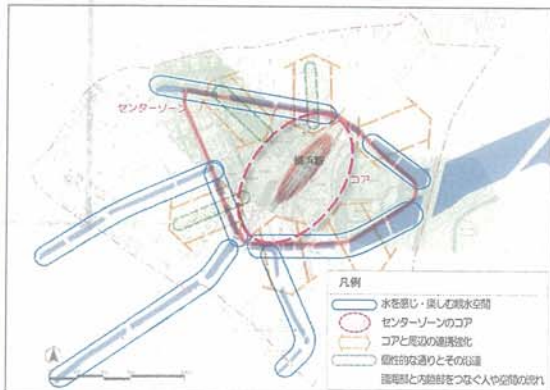
心地よく、心に残る場面にあふれた『魅了するまち』

まちに関わるすべての人が『誇りに思うまち』

将来像実現に向けた目指すべき市街地構造

○目指している市街地の構造

- ・センターゾーンへの高次都市機能の集積・高度利用が進展
- ・親水性の高い市街地を形成する水辺空間
- ・「ターミナル」としての横浜駅とその隣接街区の機能強化(コアの形成)
- ・コアと周辺、隣接地区(MM等臨海部、内陸)との連携強化
- ・海及び臨海部と内陸部とをつなぎ人や空間の新しい流れを形成



II まちづくりの戦略 (戦略編)

まちの将来像を実現していくための地区全体の重点的な取組みの基本方針

1. 横濱中心戦略 ～アジアの交流センターに向け、新たな開港～
○羽田空港への近接性を活かし、世界と結ばれた都市活動・交流拠点の形成
○国際都市横浜の玄関口の形成
○首都圏の重要な広域拠点としての機能向上
○魅力ある生活・文化創造拠点の形成
2. 環境創生戦略 ～横浜発・環境で世界をリード～
○まちの機能更新に伴うエネルギー効率の向上と環境負荷の低減
○水と風と緑を感じ、うるおいのあるまちづくり
○まちぐるみでの取組みによる良好な環境の形成
3. 安全安心戦略 ～誰もが安心して集える場へ～
○民間と行政が連携・協力した都市防災機能の強化
○「顔の見える安全・安心管理」の体制づくり
4. 感動空間戦略 ～忘れられないシーンを演出～
○周辺市街地との連携を意識した、横浜の玄関口として新たな都市空間を創造
○地区の特徴を活かした、横浜らしさを感じることができる景観の形成
5. 悠々回遊戦略 ～ハマ時間を満喫できる境界の創造～
○駅東西が一体となる回遊性の向上
○歩きやすく、わかりやすい歩行者空間の形成
○個性と魅力が感じられる「通り」の創出
6. 交通転換戦略 ～公共交通の利用促進～
○総合的な交通結節機能の強化
○公共交通を優先した交通施策の展開
7. 協働共創戦略 ～みんなでつくり、はぐくむ～
○エリアマネジメント組織とプラットフォームの形成
○地元主体のエリアマネジメント
○活動と成果・検証等の循環によるまちの価値向上

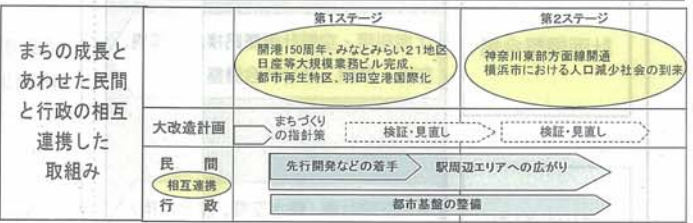
□重点的なプロジェクト



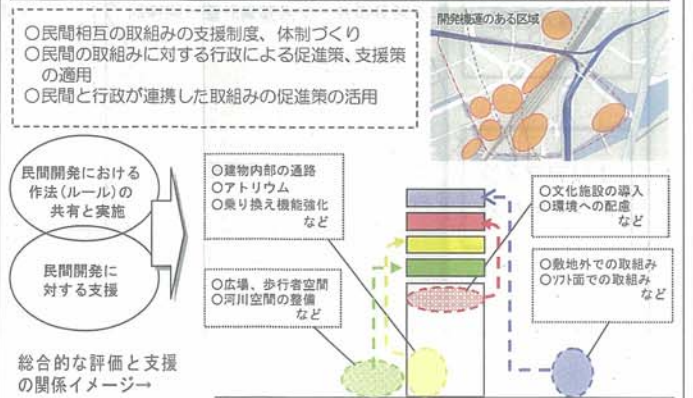
III まちづくりの進め方 (マネジメント編)

みんなで連携し、協働するまちづくり

- ・まちづくりに関する民間の諸活動、民間相互の連携を通じたまちづくりへの取組み
- ・地域活力向上などの見地からの行政の施策推進によるまちづくりへの取組み
- ・まちづくりに関する民間と行政の連携・協働によるまちづくりへの取組み



民間相互、民間と行政によるまちづくりを促進、支援する仕組みづくり



■横浜駅周辺大改造計画 全体スケジュール

